

類型	具体的内容
孤立	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣との交流が減少している ・家族、親類と疎遠、関係が悪い ・キーパーソン、相談相手がいない ・地域関係の希薄化 ・地域の認知症に対する理解が得られていない
外出	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の車の運転 ・歩行不安定で外出しにくい（専門職の関わり） ・住環境の整備 ・移動手段の確保 ・認知症の人が安全に外出できる体制づくり（認知症の理解、見守り）
経済的不安	<ul style="list-style-type: none"> ・次の行き先（賃貸住宅の転居・施設入所等）が困難
キーパーソン不在	<ul style="list-style-type: none"> ・独居 ・家族関係が悪い ・家族に精神疾患あり
緊急時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・独居、キーパーソン不在 ・最期をどう迎えるか、本人の意思決定・家族への支援 ・かかりつけ医がいない
サービス拒否	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症があり、本人がサービス利用を拒否 ・家族が拒否（家族の意思によりサービスが決定）
服薬管理	<ul style="list-style-type: none"> ・独居、認知症があり管理が不十分 ・本人が飲みやすい環境づくり ・薬の管理者の確保
障害・精神等の混合	<ul style="list-style-type: none"> ・家族に精神疾患あり、家族関係が悪い、虐待のリスクが高い ・家族へのサポート不足 ・それぞれのサポート体制はあるが、動きがバラバラで連携が取れていない
見守り	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣者も高齢化しているため見守り体制づくりが困難 ・家族が地域から孤立しているため体制づくりが困難 ・キーパーソン不在 ・独居の認知症高齢者の地域の見守り
島しょ部	<ul style="list-style-type: none"> ・島民の超高齢化、一人暮らしの増加、見守りが必要な人の増加 ・疾病の重症化予防、介護の重度化予防 ・医療及び介護サービス利用の制限